

2024 7/14 Sun

第8回 災害伝承“語り継ぎ”探究サロン 震災後生まれの 新聞記者として

ゲスト：名倉あかり（なぐら あかり）さん

日時：2024年7月14日（日）15:30～17:00

開催方法：会場とオンライン（ZOOM）（事後アーカイブの予定あり）

会場：人と防災未来センター 西館 1F ガイダンスルーム



次の1月で、阪神・淡路大震災から30年を迎えます。震災のあった1995年生まれの名倉さんは、新聞記者として活躍する中で、新聞社における防災担当となり、防災を発信する立場において、震災とご自分との関係性を意識しながら取り組んでおられます。メディアとして意識的に実践されておられることの具体像と、その思いについて伺います。

プログラム

第1部：
ゲストの方のお話

第2部
ゲストとコーディネーターによるセッション、質疑応答

ゲストプロフィール

名倉 あかり（なぐら あかり）

1995年12月姫路市生まれ。28歳。
阪神・淡路大震災で停電し、真っ暗になってしまった神戸の町。あかりの名は、これをニュースで見た母から「人を元気づけたり、癒やしたりする存在になってほしい」との思いを込めて名付けられた。関西学院大学卒業後、2018年神戸新聞社入社。西宮市の阪神総局へ配属され、被災した市町やご遺族の取材に当たった。21年神戸本社報道部へ異動。当時を知る先輩社員と共に、阪神間の学校で震災に関する授業を行う。23年から防災担当。記事を通じて、阪神・淡路を知る世代と知らない世代をつなぎたいと、日々取材に取り組む。

コーディネーター

米山 未来（こめやま みく）

1994年11月生まれ。
淡路島出身。
阪神・淡路大震災
2代目語り部として
被災経験のある世
代と未災世代とを
つなぐ活動に取り
組む。



参加無料 対象：どなたでもご参加いただけます。全国の災害伝承ミュージアムのみなさまにもご案内しています。
定員：会場参加は先着20名、オンラインは制限なし

参加方法：

フォームからお申し込みください。締め切り 前日 7/13 17:00
会場参加は空きがあれば当日参加できます。 <https://forms.gle/a9XUgjoZpartGPhp6>
事後アーカイブの視聴希望も受け付けています。

オンライン参加をお申し込みいただいた方に、開催日前日にメールでZOOMアドレスをお送りします。
また、Facebookページにもアドレスを掲載します。
何らかの事情でメールが不達の場合は、こちらからご確認ください。

Facebook ページ >>> <https://fb.me/e/6L9L3lPlm>



主催： 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

お問い合わせ： 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 事業部運営課 企画担当 email: event@hitobou.com